



At First

地域社会を支える西武信用金庫の役割

金融業界を取り巻く環境は大きく変化しています。

その中で西武信用金庫は何が求められているのか、信用金庫の役割や必要性から紐解いて紹介します。

Phase.01

信用金庫を取り巻く環境とは？

高度経済成長期～バブルの崩壊を経て、人口減少が始まった日本。多くの企業がかつてのような成長を続けられなくなりました。このような環境下において、信用金庫は原点に戻らなければなりません。つまり、企業はもちろん地域全体の相互扶助のハブ（中核）として、課題に耳を傾け、あらゆる支援を実行することで、地域のためにどのように貢献していくのか、信用金庫は問われています。



大きく変化する社会において
西武信用金庫はどのように地域社会に
貢献しているのか？

Phase.02

西武信用金庫が地域社会・地域経済へ貢献する取組みとは？

たとえば……

- ・優れた技術を持つ地域の企業と大手企業をつなぐ。
- ・住みよい街づくりに取り組むNPO法人の活動を、
地域のお客さまが預金を通して支援できる仕組みをつくる。
- ・地域27の学校法人の学生と企業経営者が交流する機会を生み出す など

さまざまな活動を通して、西武信用金庫は地域経済・地域社会に貢献しています。

西武信用金庫の基本理念

「人間主義」＝人がすべて

基本理念の考え方

「人間主義」とは、役職員・社員一人ひとりが組織の中で個性と能力を最大限に発揮し、地域のお客さまとのつながりを深めて共に発展する、すなわち、人が経営のすべての原点であるという考え方です。

西武信用金庫の姿勢

お客さまの課題に共に挑んでいく”お客さま支援”

デジタル化、グローバル化、少子化が一気に進む今、東京での活動は必ずしもアドバンテージとはなりません。固定費が高騰する中、次の一手を模索する企業。学生と社会をつなぐカリキュラムづくりに悩む学校。資産形成に不安を感じている個人のお客さま。多種多様な課題と一つひとつ向き合い、お客さまと共に挑んでいきます。

